

Ⅲ ふれあいの中で

1 わたしたちにできること

わたしたちは、"生きている"という喜びを、どんなときにも感じるでしょうか。

わたしたちの住んでいるまちには、様々な年齢や環境にある、たくさんの人たちが共に暮らしています。共に生きている喜びを感じるためには、一人一人が思いやりの心を持ち、おたがいのことを理解し合うことが大切です。

(1) 交流する

川崎市内の老人ホームには、体の不自由な人や一人暮らしの人など、たくさんの高齢者が生活しています。

小学校の中には、総合的な学習の時間を利用して、地域にある老人ホームへお手伝いに行っている学校もあります。小学生だけでなく、保育園児や中学生、大人など地域の人たちが、社会状況をみながら施設を訪れたり、施設の高齢者を招いたりしています。

実際に交流することで、感じることや学ぶことがたくさんあります。



一緒にゲーム (栗木台小)

(2) 共に学ぶ

みなさんが通う小学校では、その子の持つ特性や背景によって、学習や生活を送るために支援が必要な子も一緒に学んでいます。また、

最近では国際化が進んだことによって、様々な国籍や文化的背景を持つ子も増えてきています。

障害や国籍、文化のちがいがあっても、交流を深めておたがいを理解することで相手を思う気持ちが育まれます。それぞれの個性を認め合い、共に生きていくことはとても大切なことです。

国際教室

海外の学校に通っていたけれど日本に引っ越しをしてきた子、お父さんやお母さんが外国出身で家では日本語ではない言葉で話をしている子など、学校には、世界の国々につながりを持ち、様々な文化の中で育ってきた子がたくさん通っています。



国際教室の様子

日本の学校でも楽しい学校生活を送り、学習に取り組めるようになるために、日本語の勉強をがんばっている子も多くいるでしょう。

川崎市では、日本語を学習する子どもが多くいる学校に「国際教室」を設置して、日本語や学校生活のサポートをしています。

おたがいの文化を大切にしながら、ちがいや良さを理解し合うかかわりは、広く豊かな心を育むことにつながります。国際化が進み、これからはますます世界の人々とふれ合う機会は多くなることでしょう。共に学び、共に育っていく仲間として、おたがいを理解し合う気持ちを大切にしていきましょう。

(3) 動物たちと共に

みなさんの周りには、人間だけではなく、犬や猫などの動物も暮らしていますね。

動物は人間の言葉を話せません。でも、



よく見ていると、人間と同じように、「うれしい」「かなしい」など、今どんな気持ちでいるかが分かってくると思います。犬や猫^{ねこ}をなでたり、一緒に遊^{いっしょ}んだりすると、楽しい気持ちになりますね。わたしたちを幸せにしてくれる動物ですから、どうすれば動物を幸せにしてあげられるか、一生けん命考えることが大切です。

わたしたちがペットとして飼う犬や猫^{ねこ}は、人間にお世話をされない^{ない}と生きていけません。でも、飼い主さんが重い病気になったりするなどの理由で飼えなくなってしまったペットや、迷子^{まご}になってしまったペットが、川崎市にもたくさんいます。

動物愛護センター（ANIMAMALLかわさき）では、そのような理由^{しゅうよう}で収容されたペットの世話を^{して}、元の飼い主さんに返したり、新しい飼い主さんを見つけたりする仕事^をしています。また、職員だけではなく、ボランティアの人たちが、猫^{ねこ}の世話などを手伝いに来て、みんなでのちを守る努力^をを続けています。「いのち・MIRAI教室」や、夏休みにANIMAMALLかわさきのお仕事^{について}学ぶ教室^{など}も行っています。

川崎市では、いのちを「まなぶ」「つなぐ」「まもる」を合言葉に、人間だけではなく、動物も幸せ^くに暮らせる社会^{をつくる}ための取組を進めています。



ねこ ちりょう
猫の治療の様子



いのち・MIRAI教室の風景

(4) ボランティア活動

ボランティアとは、住みやすい社会をつくるために、進んで社会や人のために役に立つ活動をしている人たちのことをいいます。

市内の福祉施設では、多くの人たちが訪れ、ボランティア活動をしています。近くに住む高校生や大学生は、そうじや洗たくなど高齢者の手伝いに来ています。ほかにも理容師さんや美容師さんなど、いろいろな人たちが訪れています。

また、目や耳が不自由な人たちのために、文字を大きくして読みやすくしたり、点字の本を作ったり、手話通訳をしている人たちもいます。

このように、だれもが共に喜びや悲しみを分かち合うことを願い、ボランティア活動が進められています。

(5) 様々なボランティア活動

わたしたちのまちでは、たくさんの方が様々なところでボランティア活動をしています。ボランティア活動の輪は、家庭や地域など多くの場所で広がっています。

■地域でできるボランティア

- 高齢者や障害者の生活支援 ○交通安全のための活動
- 点訳・手話・朗読 ○福祉バザーや地域行事への参加・協力
- 環境美化・清掃活動・リサイクル運動

■家庭・学校・職場でできるボランティア

- 収集活動（ベルマーク、使用済み切手、書き損じハガキなど）
- アルミ缶回収などのリサイクル
- 募金活動 ○朗読テープ録音や点訳

■施設や病院でできるボランティア

- 話し相手や遊び相手 ○施設行事への参加 ○身の回りの手助け
- 特技を生かした活動（手芸、植木、生け花、理髪、学習など）

かわさきパラムーブメント

川崎市は、だれもが自分らしく暮らし、自己実現を目指すことのできる共生社会を実現するために「かわさきパラムーブメント」を進めています。

かわさきパラムーブメントは、障害・年齢・人種・LGBTに関わらず、全ての人々が活躍できる社会にするために、人々の意識や行動を変えるための取組です。

障害のある人や外国の人等について知り、相手の気持ちになって考える勉強もパラムーブメントの取組の一つです。



めざせ! やさしさ日本代表!
かわさきパラムーブメント

パラスポーツやってみるキャラバン

「かわさきパラムーブメント」のレガシー形成に向けた取組の一つとして、普段は観戦・体験する機会の少ないパラスポーツの魅力子どもたちに体験してもらう講座を開いています。

小学校の授業や老人福祉センターなど、地域の施設を活用して、障害への理解や、学校・地域のパラスポーツへの関心を高める機会を創出しています。



車いすバスケットボール

2 身近にある主な福祉施設

川崎市社会福祉協議会・各区社会福祉協議会（福祉パル）

社会福祉協議会は、地域の人々や団体、ボランティアなどが参加して「福祉のまちづくり」を進める団体です。

各区に1か所ずつある福祉パルでは、福祉に関する情報を提供したり、相談を受けたりしています。

また、福祉に関する講座や研修も開催しています。



夏休み福祉・チャレンジボランティア体験学習の様子

■ 障害のある人のための施設

総合リハビリテーション推進センター

支援を必要とする人が質の高いサービスを受けられるよう、サービスを提供する施設や事業者に対する研修や、効果的な支援方法の検討を行っています。さらに、障害のある人のために、障害の程度の判定や相談も行います。

障害者相談支援センター

障害のある人が自分の望む暮らしができるよう、障害のある人やその家族、地域にお住まいの方から様々な相談を受け、解決方法を一緒に考えたり、探したりするところです。市内に26か所あります。

地域リハビリテーションセンター

障害のある人、高齢者、治療が必要な病気の人など、何かの理由で

生活がしづらい方や手助けが必要な方が、住み慣れた地域^{ちいき}や自分が望む場所で安心して暮らし続けていくために、相談を受けたり支援^{しえん}を行ったりする施設^{しせつ}です。市内に3か所あります。

身体障害者福祉センター（身体障害者福祉会館）

障害^{しょうがい}のある人が、いろいろな相談をしたり、身の回りのことはできるだけ自分でしていけるような訓練^{しせつ}をしたりする施設^{しせつ}です。市内に4か所あります。



たまがわ さとしんたいしょうがいしゃふくし かいかん
多摩川の里身体障害者福祉会館

視覚障害者情報提供施設（川崎市視覚障害者情報文化センター）

目の不自由な人のために、点字図書や録音図書（CD）の貸出しをする施設^{しせつ}です。また、白杖^{はくじょう}の使い方や点字の読み書き、料理など、目に障害^{しょうがい}があっても安心して日々^{ひび}の生活を送れるようにするための訓練^{しせつ}を行っています。

聴覚障害者情報提供施設（川崎市聴覚障害者情報文化センター）

耳の不自由な人のために、字幕^{じまく}や手話の入ったDVDなどの貸出しや手話通訳・要約筆記者の派遣^{はけん}、また耳の不自由な人の困りごとの相談^{しせつ}などを受けている施設^{しせつ}です。

発達相談支援センター

発達障害^{しょうがい}や、その疑い^{うたが}がある人の心や身体の健康に関する心配や家庭生活や社会生活での困りごと^{こま}、就労^{しゅうろう}などについての相談^{しせつ}を受けています。

障害福祉サービスを提供する施設

(1) 施設で生活しながら障害福祉サービスが受けられる施設

障害のために常に介護が必要な方が、施設で生活しながら入浴や食事などの障害福祉サービスを受けられる施設です。サービスの内容は施設によってちがいます。市内に6か所あります。



障害者支援施設 桜の風 (中原区)



桜の風 リビング

(2) 施設に通って障害福祉サービスが受けられる施設

障害のある人が、地域で生活するために仕事を覚えたり、身の回りのことはできるだけ自分でできるようにするための訓練を行う施設です。市内に225か所あります。

■発達に不安のある子ども・障害のある子どものための施設

子ども発達・相談センター、地域療育センターなど

発達に不安のある子どもの相談を受ける窓口（子ども発達・相談センター）が市内に4か所あります。また、障害のある子どもの相談を受けたり、身の回りのことはできるだけ自分でできるようにするための訓練が行える施設（地域療育センター）が市内に4か所あります。そのうち1か所には、知的な障害のある子どもが入所して、訓練をしながら日常生活を送ることができる施設も併設されています。

また、重度の知的な障害と重度の体の不自由が重複する人が、医師

の治療を受けながら日常生活を過ごす施設（ソレイユ川崎）があります。



北部地域療育センター（麻生区）



北部地域療育センターの内部

■子どものための施設

児童相談所

子ども（18歳未満）の権利を守り、その子らしく成長できるように相談を受けたり、必要な援助をしたりしています。市内に3か所あります。

児童家庭支援センター

子ども（18歳未満）や家庭の相談を受け、一緒に考えながら問題を解決するお手伝いをしています。市内に6か所あります。

こども文化センター

子どもたちが楽しく仲良く遊んだり、行事などに参加したりする施設です。市内に59か所あります（民間児童館1か所ふくむ。）。



宮前平こども文化センター

わくわくプラザ

小学校1年生から小学校6年生までの子どもが、放課後などに学年を問わず楽しく遊んだり、スポーツや工作などをしたりして過ごす施設です。川崎市内の全ての市立小学校に設置しています。

乳児院・児童養護施設

様々な理由により家庭で養育を受けることができない子どもを養育する施設です。市内に6か所あります。

児童心理治療施設

様々な理由により生活の中で生きづらさを感じている子どもに入所または通所してもらい、治療を行う施設です。

■高齢者のための施設

地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らしていくことができるよう、福祉サービスを受けるための支援や、高齢者やその家族の身近な相談を受け付けるところです。市内に49か所あります。

老人福祉センター（愛称：いきいきセンター）

高齢者の相談を受けたり、趣味や健康のための行事などをしたりする施設です。各区に1か所ずつあります。

老人いこいの家（愛称：いこいの家）

高齢者が、自分たちで趣味や健康のための活動をする施設です。市内に48か所あります。



菅いこいの家と菅こども文化センター

養護老人ホーム

住まいのことなどで困っている高齢者が暮らす施設です。市内に2か所あります。

特別養護老人ホーム

ねたきりや認知症などにより、家庭で生活することが難しい高齢者が、日常生活の介護を受けながら暮らす施設です。市内に58か所あります。



特別養護老人ホーム おだかの郷（高津区）

介護老人保健施設

介護を必要とする高齢者がリハビリや訓練などを行い、家庭での生活を目指す施設です。市内に19か所あります。

ふれあい

令和5(2023)年3月発行

企画・編集 川崎市健康福祉局

発行 川崎市

編集協力者

川崎市総合教育センター指導主事

鈴木 正博

川崎市立中野島小学校校長

今 広道

川崎市立住吉小学校教諭

川田 照子

(これは何のマークでしょうか?)の答え

1. マタニティマーク(おなかに赤ちゃんがいることを知らせています。)
2. 四つ葉マーク(正式には高齢運転者標識と言います。70歳以上の人が運転していることを知らせています。)
3. 視覚障害者のための国際シンボルマーク(目が不自由な人が使うものについています。)
4. 耳マーク(耳が不自由であることを知らせています。)
5. 障害者のための国際シンボルマーク(障害のある人が利用できる施設や乗り物についています。)
6. ハート・プラスマーク(心臓や呼吸機能など身体の内部に障害があることを知らせています。)
7. 身体障害者マーク(体の不自由な人が運転していることを知らせています。)
8. うさぎマーク(耳の不自由な子どもも楽しく遊べるおもちゃについています。)
9. 色覚バリアフリーマーク(誰にでも見分けやすい色使いのものについています。)
10. 聴覚障害者マーク(耳の不自由な人が運転していることを知らせています。)
11. ほじょ犬マーク(身体障害者補助犬同伴の啓発のためのマークです。)
12. オストメイトマーク(人工こうもんや人工ぼうこうの人が使えるトイレを表しています。)
13. ヘルプマーク(外見からは分からなくても、周りの方に配慮・援助を必要としていることを知らせるマークです。)

(「ふれあい」を点字で書いてみよう!)の答え

ふ	れ	あ	い
● ●	● ●	● ○	● ○
○ ○	● ●	○ ○	● ○
● ●	○ ○	○ ○	○ ○

市民の花つつじ



市民の木つばき



令和5(2023)年度版

小学校	年	組
名前		

この本は再生紙を使用しています。